

越前町合併10周年記念式典 シンポジウム

2月1日、越前町陶芸村の文化交流会館で「越前町合併10周年記念式典とシンポジウム」が開かれました。

平成17年2月1日の合併からちょうど10年にあたるこの日、西川知事や県選出国會議員、町議會議員ら関係者約700人が出席。オープニングでは地元中学校吹奏楽部の演奏に続き、合併から10年を振り返るオープニング映像が上映された後、内藤町長は「今後は更に町民全体の融和と団結意識を高め、越前町に住むことを誇りにし、限りない愛着を持って頂けるふるさとの創造に力強く邁進していきたい」と式辞を述べました。

続いて、町政の発展に寄与された功労者の皆さんや合併10周年記念事業として募集した図画・作文コンクールで入賞した児童の皆さんが表彰されました。

その後、来賓の西川知事や県選出国會議員の方々に「祝辞をいただきました。式典の最後には10周年を記念して新たに制作した「越前ふるさと音頭」みんな美し越前町の歌と踊りが初披露されました。

披露されました。



▲祝辞を述べる西川知事



▲「越前ふるさと音頭 ～みんな美し越前町～」の初披露



▲地元中学校吹奏楽部の演奏



▲ま～るく参画一座の寸劇



▲堀尾正明さんの講演



シンポジウムは、(財)自治総合センターがコミュニティ活動の充実・強化及び宝くじの社会貢献広報を目的として行う「コミュニティ助成事業」を活用し実施しました。

式典につづいて、シンポジウムのオープニングでは地元でおなじみの「ま～るく参画一座」が登場して寸劇を披露し、会場を盛り上げました。記念講演会ではテレビやラジオで活躍されている堀尾正明さんをお迎えし、「あなたが主役でまちが輝く」と題して講演いただきました。堀尾さんは、地域で犯罪や災害から身を守る仕組みをつくることの大切さについて具体的な例を挙げながら分かりやすく話されていました。

続く、パネルディスカッションでは相模女子大学教授の松下啓一さんをコーディネーターに迎え「未来へつなぐ、私たちのふるさと」地域の力で支える持続可能なまちづくり」というテーマで朝日地区の寺坂大地さん、宮崎地区の司辻健司さん、越前地区の山下瑛理香さん、織田地区の石田公代さんと堀尾さんの5人のパネリストが越前町の将来について議論を交わしました。



▲式辞を述べる内藤町長



▲町政功労者表彰



▲図画・作文コンクールで最優秀賞を受賞した森下音和さん(城崎小、左)と河合凜香さん(宮崎小、右)

▲パネルディスカッション